

(1) はとむぎ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 葉枯病 <i>Curvularia tomato</i> <i>Curvularia senegalensis</i> <i>Curvularia ovoides</i> <i>Pseudocochliobolus nisikadoi</i>	1. 無病種子を用い、連作を避ける。 2. やむを得ず連作するときは、前作の被害茎葉を処分する。 3. 有機質肥料を増施し、深耕する。 4. 窒素肥料を分施し、リン、カリ、苦土肥料を多く施用する。	播 種 前 (種子湿粉衣) (種子浸漬)	M3・1 M3・1	(混)ホーマイ水和剤 (混)ベンレートT水和剤20
		発 病 初 期	2	ロブラール水和剤
2 アワノメイガ	1. 定植までに畦畔の草刈りを行う。	5月下旬～6月 7月中旬 ～8月上旬 8月下旬 ～9月下旬	14 14	パダン粒剤4 パダンSG水溶剤
3 イネヨトウ	1. 定植までに畦畔の草刈りを行う。	4月中旬 ～6月下旬 7月 8月下旬 ～9月下旬	14	パダン粒剤4

(2) さとうきび

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 メイチュウ類	1. 定植までに畦畔の草刈りを行う。  〈薬剤使用の特記事項〉 1. さとうきびの生育初期から有効分げつ期に、心枯れ防止をねらって重点的に3～4回薬剤散布する。 2. 本種を対象に防除を行っているところでは、イネヨトウの発生が少ない。 3. サンケイトー農スミチオン乳剤がさとうきびに登録がある。	植 付 時	1A 1A	ガゼット粒剤 オンコル粒剤5
		培 土 時	1A 1A	ガゼット粒剤 オンコル粒剤5
		5月上旬 ～6月下旬	1B	スミチオン乳剤

(3) そ ば

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 立枯病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 連作を避ける。 2. 土壌が過湿にならないよう、注意する。 3. 過剰施肥は発病を助長する。	播 種 前	14	リゾレックス粉剤
2 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	発 生 初 期	11A 11A 18	クオークフロアブル ゼンターリ顆粒水和剤 ロムダンフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する